

## 資料 1

西東京市公民館運営審議会  
令和4年度第2回定例会議

## 令和3年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 令和4年6月15日

NO	実施館	事業名	期間・回数	参加者数	実施内容	主な講師等
1	柳沢	子育て中の外国人女性のための日本語講座	令和3年6月11日から 令和4年3月11日 金曜日 10時から11時45分 全29回	延べ159人	作文、会話、文法等、日本語を学習するとともに、日本社会で暮らす上で必要な情報・知識を得たり、悩み等を話し合ったりする場となった。	平成23年度および24年度実施の「外国人のための日本語講座」スタッフ養成講座”修了者 市内日本語教室ボランティア経験者
2	柳沢	ムービールーム柳沢	令和3年9月8日から 令和4年3月9日 水曜日 14時から 全6回	延べ253人	多様なジャンルの映画作品を上映。	上映作品解説：嶋野寛章（日本映画大学卒業）
3	柳沢	地域づくり未来大学	9月18日から 令和4年3月5日 土曜日 10時から12時15分 全11回	延べ190人	【1部】心理学の実践トレーニングを用いた本格的な自己分析とその共有により参加者の結びつきを形成 【2部】商店街、子どもの居場所、農業と回ごとにテーマを立て、地域団体に活動の紹介を聞き研究 【3部】1部、2部を受けて、グループで活動企画書を作成	神吉徹二（（株）HR and 代表取締役） 中村晋也（ヤギサワベース代表） 岸田久恵（NPO法人猫の足あと代表理事） 西原みどり（西東京子ども放課後カフェ副代表） 若尾健太郎（（株）ユニココ代表取締役） 岩松真紀（明治大学非常勤講師）

4	柳沢	柳沢公民館フェスティバル ヤギフェスvol.10 柳沢みんな の文化祭 今こそ やぎさや和～こころ つ なげて～	【展示】 11月13日（土曜日） 11月14日（日曜日） 【ステージ発表】 11月20日（土曜日） 11月21日（日曜日）	参加団体 24団体 個人参加 1人 来場者 延べ380人	公民館や地域で活動する団体・個人が 実行委員会を組織し、協力して企画、 準備し、開催。コロナ禍のため、別日 に作品等の展示とステージ発表を行っ た。	
5	柳沢	現代社会を考える講座 「戦後のはじまり」から、「いま」 を考える ～歴史に学ぶ現代社会のしくみ～	12月25日から 令和4年3月12日 土曜日 10時から12時 全5回	延べ214人	当時の人々が残した史料を読み、戦後 の始まりである占領期について学ん だ。現在の日本社会のしくみがなぜこ うになったのかを考える機会とな った。	戸邊秀明（東京経済大学全学 共通教育センター教授）
6	柳沢	地域防災講座 災害時にだれも孤立させないまち づくりを考える 総集編	令和4年1月15日 1月29日 2月19日 土曜日 14時から16時30分 全3回	延べ37人	発災後の救命期、避難生活期、生活再 建期の各段階において、自助、共助、 公助の何が基本になるかを整理し、だ れも孤立させないまちづくりを行うた めの課題について考えた。	小野修平（ジョージ防災研究 所代表）
7	柳沢	ムービールーム柳沢特別企画 ～ムービー玉手箱～	1月19日 水曜日 14時から16時30分	25人	第14回から第18回までの西東京市民映 画祭自主制作映画コンペティションの 最優秀作品を上映し、講師の解説や監 督の話聞いた。	井坂能行（岩波映画顧問） 山本恵司（西東京シネマ倶楽 部代表）
8	柳沢	教養講座 コロナ禍で新たなライフスタイル を考える ～キャンプの魅力を知る編～ ※オンライン開催	3月25日 金曜日 19時から21時	4人	キャンプの魅力や必要なギア、初心者 向けのノウハウを学ぶことを通じて、 参加者それぞれが考える理想のライフ スタイルについて話し合い、現在の生 活と照らし合わせ価値観を見つめ直す 機会となった。	こいし ゆうか（キャンプコー ディネーター、エッセイ漫画 家、イラストレーター） 中村麻美（ラジオパーソナリ ティ）